

高橋等庵

たかはし とうあん

茶道研究家。

文久二年一月十五日當陸國水戸生れ、

昭和十二年十一月十二日歿（六六―一九三七）。

本名義雄。別號二巷居士、

伽藍洞主人、准亭居士、筑山、等庵老人等。明治十五年慶應義塾正則

卒。一時『時事新報』記者を経て、二十四年二井銀行入行。のち二井英版

活理專、王子製紙會社専務取締役等歴任後、五十歳を以て實業界を引

退し、爾來趣味人生活。茶事に造詣深かりた。

著書、『英國風俗鏡』（准亭居士名、明治二十三年十一月二十五日大

倉書店）、『花衣一名二井吳服店案内』（合著、明治二十一年一月

一日比翁助編刊）、『我樂多篇』（大正二年十一月二十一日博文

社）、『實業懺悔』（大正四年五月八日博文社）、『山公遺稿』（大

正十四年四月二十五日慶文堂書店）、『福澤先生を語る―諸名士の道

話』（編、昭和九年十月二十五日岩波書店）、『大正 昭和北野大茶湯―古

今茶道の對照』（昭和十一年十一月五日秋豐園出版部）、『十一月月

茶の湯』（昭和十六年五月十五日秋豐園出版部）、『茶道讀本』（昭

和二十四年五月十日ローラン社）等。

